

取扱説明書

安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用収納用品

左記以外の用途には使用しないでください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品が変形するおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子様がいたずらしないよう注意してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 耐荷重以上のものを入れたり、載せたりしないでください。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 移動する際は、載せてあるものをすべておろしてください。
- 可動部にものを載せたまま動かさないでください。
- この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。
- 一点に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。
- 引き出しを勢いよく引き出さないでください。脱落することがあります。
- 引き出しを引いた状態で荷重をかけないでください。転倒・破損の原因となります。
- 引き出しの開閉時に指などを挟まないよう注意してください。
- 引き出しの開閉は静かに行ってください。破損の原因となります。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
  - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
  - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
  - ・濡れたものや熱いものを置かないでください。
  - ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- 使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつきことがありますので定期的に締め直してください。また、使用しているうちに可動部がずれることがあります。可動部と本体天板との重なりが20cm以上あることを定期的に確認してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。

お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- お手入れの際に、板の表面を強くこすらないでください。表面の化粧プリントが傷む原因になります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>  
 製品に関するお問い合わせ 9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)  
 アイリスオーヤマ株式会社  
**0120-211-299**  
 Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support>  
 ●お問い合わせの際は製品の型番をお調べいただき、説明書をご購入履歴のわかるものをご提出をお願いします。

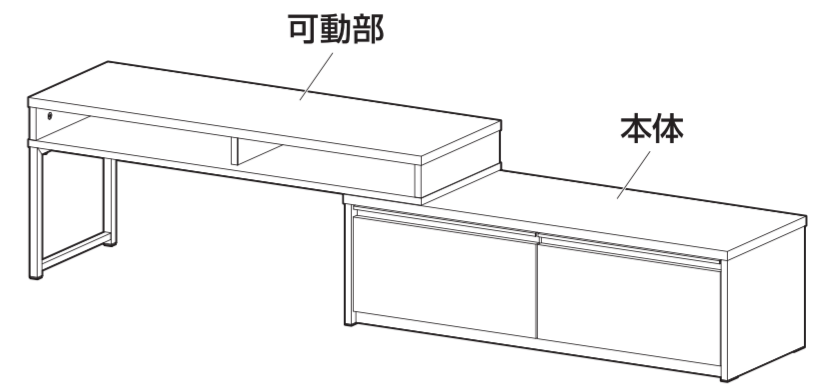
810521  
040822-QHJ-GIU-01

IRIS OHYAMA

伸縮テレビ台  
STS-100U

幅100cm以下の薄型TV専用

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。



2人での組み立てをおすすめします。

必要工具

- ④ドライバー (サイズ:2番)

注意

インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

仕様

製品サイズ	外寸:幅1000~1777×奥行350×高さ410mm 本体:幅977×奥行347×高さ296mm 可動部:幅1000×奥行350×高さ410mm 引き出し内寸:幅411×奥行286×高さ125mm
耐荷重	本体天板:30kg、可動部天板:20kg、可動部棚板(左右):各5kg、引き出し(左右):各4kg、全体:68kg
主要材質	木製部分:プリント化粧紙パーティクルボード、プリント化粧繊維板 側パイプ、取っ手:スチール(エポキシ樹脂塗装)

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。  
 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

組み立て上の注意

接着部分・連結部分について

重要 組み立て前に必ずお読みください。必ず以下の方法を守ってください。守らないと、組み立て後の強度が著しく低下します。

**1** ダボ・溝部分の接着

●溝に入れる ●穴に入れる ●ダボに塗る

接着は指示通り行ってください。

**2** 締め付けピン

※ドライバーで垂直に締め込んでください。

**3** 締め付けドラム

① 締め付けピンを穴に入れる  
 ② 締め付けドラムを穴に奥まで入れる(矢印を締め付けピンの方へ向けて入れる)  
 ③ 締め付けドラムを時計回りに回して固定する

●それぞれの作業が必要な箇所を図で示してあります。  
 ●数字は作業箇所数を示しています。

**1** ダボ・溝部分の接着 (○の箇所です)

×3 3か所の意味

**2** 締め付けピン ×3

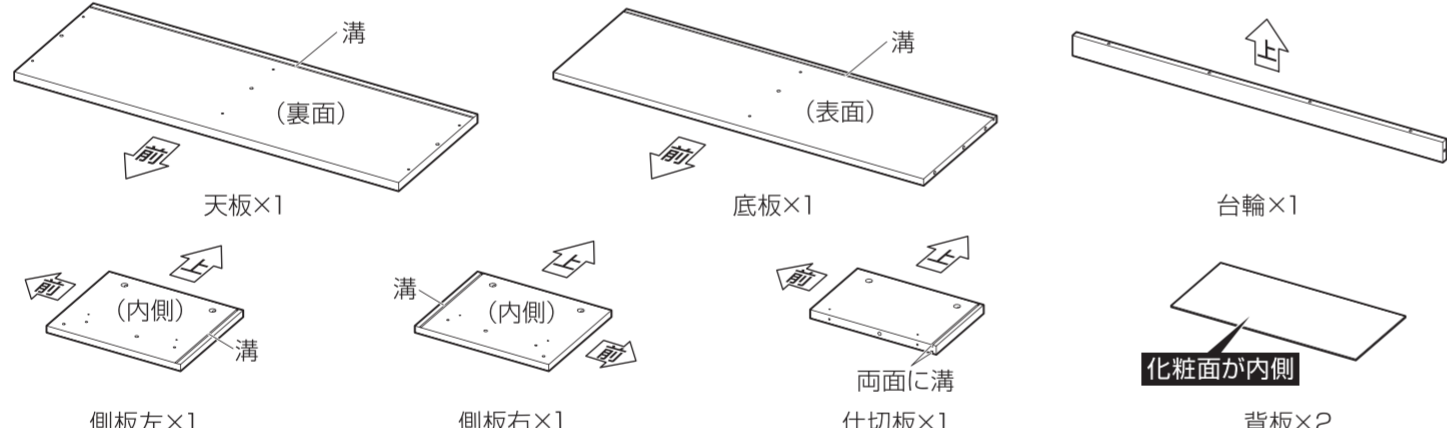
**3** 締め付けドラム ×3

折り線

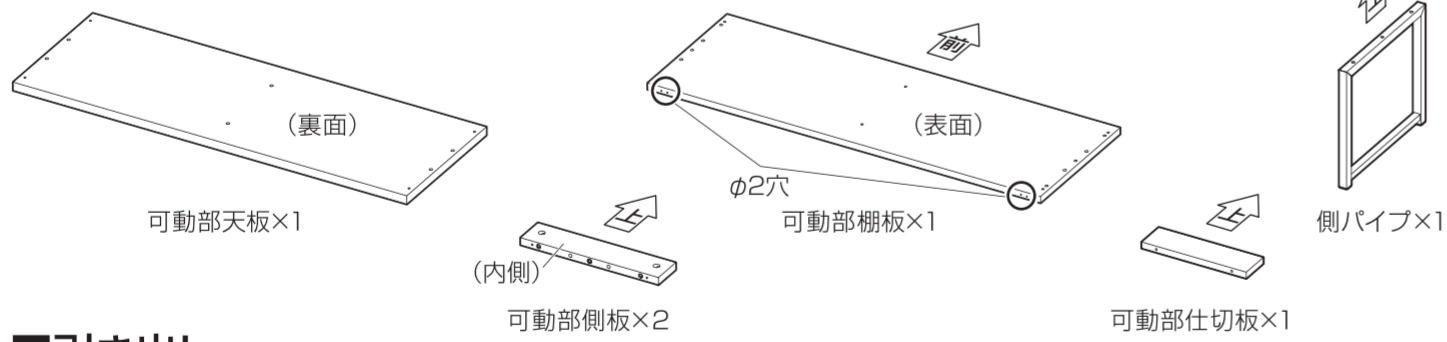
パーツリスト

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
- 表記以外の部品は梱包材です。

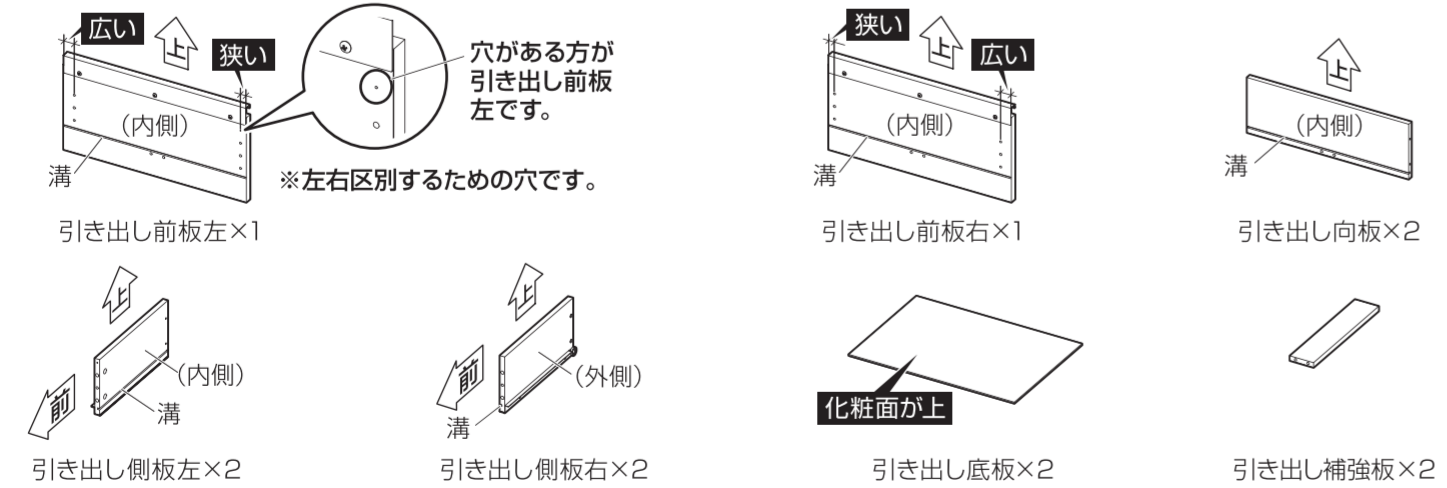
■本体



■可動部



■引き出し



■部品



組み立てかた

- 組み立ては平らな場所で、床などに傷つかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。
- 部品は正確に取り付けてください。

引き出しの組み立てかた (2組) ※図は引き出し左です。

**1** 締め付けピン (小) を引き出し前板左に取り付ける

表紙参照 **2** 締め付けピン ×4

**2** 引き出し側板 (左、右) と引き出し補強板に木ダボ (小) を取り付けた後、引き出し向板に取り付ける

表紙参照 **1** ダボ・溝部分の接着

**3** 引き出し底板を取り付ける

表紙参照 **3** 締め付けドラム ×4

**4** 引き出し前板左を取り付ける

表紙参照 **2** 締め付けピン ×4

■本体の組み立て前の準備

**1** 締め付けピン (大) を天板に取り付ける

表紙参照 **2** 締め付けピン ×6

■本体の組み立て前の準備(つづき)

**2** 木ダボ(大)を底板に取り付ける

表紙参照  
**1** ダボ・溝部分の接着

**3** 木ダボ(小)を台輪に取り付ける

**4** 側板(左、右)に木ダボ(大)と本体側レール(左、右)、締め付けピン(大)を取り付ける

表紙参照  
**2** 締め付けピン

**5** 仕切板に木ダボ(大)と本体側レール(左、右)を取り付ける

■本体の組み立てかた

**1** 仕切板を底板に取り付ける

表紙参照  
**1** ダボ・溝部分の接着

**2** 台輪を取り付ける

**3** 側板(左、右)を取り付ける

表紙参照  
**3** 締め付けドラム

**4** フェルトシール(大)を貼り付ける

**5** 背板を取り付ける

**6** 天板を取り付ける

**7** 引き出し(左、右)を取り付ける

※引き出しに付いているローラーと本体のローラーを合わせて静かに差し込んでください。

上から見た図  
本体  
引き出し(左) 引き出し(右)  
※引き出しの左右に注意してください。  
狭い 広い 狭い

折り線

■可動部の組み立てかた

※図は可動部が左です。

**1** 締め付けピン(大)を可動部天板に取り付ける

表紙参照  
**2** 締め付けピン

**2** 可動部仕切板と可動部側板に木ダボ(大)を取り付けた後、可動部天板に取り付ける

表紙参照  
**1** ダボ・溝部分の接着  
**3** 締め付けドラム

**3** 可動部棚板を取り付ける

**4** 側パイプを取り付ける

側パイプはお客様のお好みにより左右どちらでも設置することができます。

**5** フェルトシール(中、小)を貼り付ける

■可動部と本体の組み立てかた

①可動部を本体にのせる  
②金具を可動部棚板に取り付ける

※可動部の金具は本体天板に損傷を与える可能性がありますので、取り付け時に注意してください。

側面から見た図

穴が大きい面  
狭い 広い  
金具  
可動部棚板 (外側)  
金具用ねじ×2

組み立て完了後、確認してください

- ・ねじなどがしっかり締まっていること
- ・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと
- ・本体側板と側パイプが全て床に接していること

使用イメージ

- 可動部はお客様のお好みにより左右どちらでも設置することができます。
- 製品後部が必ず壁面に接するように設置すること。



注意

可動部は必ず本体と20cm以上重ねて使用してください。

